

愛知県の 重症心身障害児者の 医療的ケアを考える シンポジウム

愛知県には2000人以上の重症心身障害児者が生活しており、そのうち8割以上の方々は在宅で地域生活をしていると推測されています。医療的ケアが必要な方々が地域で安心して自立して生活するためには、家族以外の者による医療的ケアの実施がかかせません。厚生労働省の検討会では、非医療職が一定の研修を受ければ医療的ケアを提供できる研修システムと法整備の検討が進められています。重症心身障害児者の地域生活をサポートするためには、医療的ケアがあっても日中活動の場を確保し、それぞれの地域特性に応じた保健・医療サービスと福祉サービスを有機的につなげる必要があります。愛知県で重症心身障害児者の地域生活の支援に意欲的に取り組んでいる方々に実践報告と意見を発表していただき、地域で安心して暮らせるためのシステムや制度の在り方を考える場としたいと思います。

日時

2011年1月9日(日)
10時から16時30分

会場

愛知県産業労働センター
〔ウインクあいち〕902会議室(9階)

目的

重症心身障害児者が地域で安心して暮らせるための、それぞれの地域特性に応じた保健・医療サービスと福祉サービスを有機的につなげるシステムや制度について考える。

参加費無料・定員150名様
参加応募締切/2011年1月5日(水)

- ◎主催/ 医療・福祉・保健・教育のネットワーク名古屋
- ◎協力/ 愛知県重症心身障害児者の医療的ケアを考えるシンポジウム実行委員会
- ◎後援/ (予定) 愛知県、名古屋市、愛知県医師会、愛知県看護協会、愛知県社会福祉士会、愛知県介護福祉士会、愛知県相談支援専門員協会、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会





愛知県の重症心身障害児者の医療的ケアを考えるシンポジウム

プログラム

10:00～10:10

開会あいさつ

吉川雅博氏 [医療・福祉・保健・教育のネットワーク名古屋代表、愛知県立大学准教授]

10:10～11:00



基調講演 「たんの吸引等の適切な実施の在り方について」

大島伸一氏

[独立行政法人国立長寿医療研究センター総長
介護職員等によるたんの吸引等の実施のための制度の在り方に関する検討会座長]

11:10～12:00

特別講演 「重症心身障害児者の地域生活を支える」

清水明彦氏 [西宮市社会福祉協議会 障害者生活支援グループ グループ長]

13:00～13:15

アンケート調査結果報告

吉川雅博氏 [医療・福祉・保健・教育のネットワーク名古屋代表、愛知県立大学准教授]

13:15～16:25

シンポジウム

愛知県の重症心身障害児者の方が、地域で安心して暮らせるためのシステム・制度の在り方

コーディネーター 三浦清邦氏 [豊田市こども発達センター 医師]

シンポジスト

- ・廣瀬治代氏 [社会福祉法人愛光園理事]
「ひとりひとり地域の中でいのちいっぱい生きる」
- ・松田昌久氏 [愛知県重症心身障害児(者)を守る会会長]
「親は今、何をすべきか」
- ・足立保氏 [社会福祉法人1980生活支援員]
「日中活動の場における医療的ケアの取り組みと課題」
- ・中山恵子氏 [在宅介護事業所「心の泉」代表取締役・看護師]
「介護従事者による医療的ケアの研修への取り組み ～求められている現状と課題～」
- ・牧野俊樹氏 [社会福祉法人アパティア福祉会シンシア豊川相談支援専門員]
「障害者地域自立支援協議会の活用 ～声をかたちに 相談支援専門員としての取り組み～」
- ・土生栄二氏 [厚生労働省障害福祉課長]
「介護職員等によるたんの吸引等の実施と地域生活」



16:25～16:30

閉会あいさつ

春見静子氏 [愛知淑徳大学教授]

以下の必要事項をご記入の上、23年1月5日(水)までにFAXあるいはメールでお申込みください。
定員150名、定員を超え、お断りする場合はご連絡します。参加証は発行しません。

申込み・問い合わせ先

愛知県立大学社会福祉学科 吉川研究室

Fax: 056-641107 E-mail: iuchisimpo@yahoo.co.jp

定員に達したため、

申し込みはしめきりました。

所属

ふりがな
氏名

ふりがな
氏名

所属

ふりがな
氏名

ふりがな
氏名

ありがとうございました。